



みやぎ

- 30号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 清野 仁
 〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

●●基本理念●●

良い医療を安全に、心を込めて

国立病院機構QC活動奨励表彰式に参加して

この度、QC活動で北海道東北ブロックにおいて優秀賞をいただき表彰式に出席するため、9月21日（水）国立病院機構本部へ行ってきました。この日、表彰を受けたのは、北海道東北ブロックの6チームと関東信越ブロックの6チームで、各チームから1～2名の出席者がありました。

本部の方から、それぞれのチームの活動について紹介された後、矢崎理事長から表彰状が手渡され、握手を交わしました。表彰式が終わり、集合写真の撮影に続いて、大会議室で懇談会が始まりました。

「ざっくばらんに」ということで、矢崎理事長が各活動にコメントや質問する形式で会は進められ、受賞したそれぞれの活動内容に細やかにコメントをしていただきました。私たちの活動に関しては、継続できているかどうかの質問があり、継続していることを発表してきました。「他部署でも水平展開していますか？」という質問もいただきました。そして、穏やかな口調で、「これからも頑張ってください」と励ましの言葉をいただきました。

各賞を受賞した活動内容を見てみると、「事故防止」、「救急患者受け入れについて」、「薬剤の一包化について」など、以前QC活動で多く行われていた業務のスリム化を目指す活動内容に限らず、多様化していることがわかりました。

高崎総合医療センターの救急隊員をチームに加えた救急センターの取り組みは、医師と救急隊員の連携や、意欲ある取り組みの姿勢に感動しました。また、いわき病院薬剤科の取り組みは、見事に初受賞との

ことで、以前当院でも活躍されていた諏江薬剤科長と表彰式で再会することができ、大変嬉しく思いました。

矢崎理事長より、東日本より西日本の方がQC活動は活発だという話もありました。また、早い時期から、QC活動を取り入れ、熱心に取り組んできた仙台医療センターの活動が高く評価されていました。さらに他の施設のQC活動も盛んに行われるよう頑張りたいとのことでした。

今後の励みとなる貴重な経験をさせていただきました。

(南a病棟看護師 秋山 一恵)



中央病棟見学の受け入れ

9月15日(木)の午後、釜石病院の皆様が病棟更新築の参考とするため当院中央病棟の見学に訪れました。当院は昨年12月に新病棟を建築し、合わせて重症心身障害者病棟を60床運営に切り替えたこともあり、設備や病棟運営に高い関心が集まっているようで、これまで福島病院、米沢病院などいずれも新病棟建築を予定している病院の見学を受け入れております。

病棟見学は、2階病棟の家族ボランティア室、4床室、診察室、処置室、スタッフステーションのほか、個室、ディールームなど病棟内の全ての部屋を見ていただきました。その後、1階病棟では、レイアウトの異なる配膳室、衣料室、休憩室や器材室を見ていただき、浴室は患者さまの入浴時間を外して見学していただきました。また、限られた時間でしたが、4階病棟(一般急性期)も合わせて見学していただきました。

釜石病院の千田事務長さん、高橋副総看護師長さんなど7名の方々は、2階病棟入口の下足箱からアウトレット設備、病室の戸幅やガラスの大きさなど各所でメジャーを取り出して実測し、「ベットの出し入れの際、狭くないですか。」などと熱心に質問され、自分たちでより良い病院を作ろうとする情熱が感じられました。

そのほか、浴室の配置やエレベートバスとミスト浴装置、入浴時間や使い勝手の良さ、ディールームの位置や設備、各病室の空調や照明の使い方など細かいところも関心を持って聞いておりました。

釜石病院の皆様におかれましては、朝早く病院を出発して往復600kmの日帰り見学ツアー、大変お疲れさまでした。新しい病棟が完成した暁には、是非、見学にいきたいと今から楽しみにしております。

当院の新病棟を参考にされて、もっともっと良い病院が出来上がることをお祈り申し上げます。

(中央2病棟看護師長 西塚 弥生)

中央病棟(1・2病棟)サマースクール(学校体験)



今年で4回目となるサマースクールが、県立山元支援学校の協力のもと8月に3日間の日程で行われました。今年は27名と例年よりも多くの方々が参加しました。

1日目の開校式では、支援学校の校長先生から受講生1人1人が名前を呼ばれ元気に返事をしたり、先生と一緒にタンバリンを叩いて返事をしたり楽しい雰囲気の中はじまりました。2日目午前の活動では“南国の夏を楽しもう”というテーマで水遊びや魚釣り、アロハシャツを着てレイをつけて記念写真を撮って楽しみました。午後の“サマースポーツフェスティバル”は、2チームに分かれ紙テープ綱引きや、各チームの応援合戦で元気のいい声が響きわたりました。

最終日の閉校式では、校長先生から受講生1人1人の名前を呼んでもらい修了証書を受け取りました。学校に通ったことのない就学猶予・免除の方々にとって思い出に残るサマースクールになったと思います。関係者の皆様のご協力ありがとうございました。

(療育指導室 保育士 齋藤 良江)



職場の紹介 中央1病棟

～明るく笑顔で患者さんが安全・安心できる看護を目指して～

宮城病院中央1病棟は、60床の重症心身障害児(者)病棟です。現在、患者数57名で看護スタッフが33名と指導員・保育士4名の計36名で医療的ケアや日常生活援助を行なっています。殆どの患者さんが全介助を必要とし、意思表示できない方が多いので細かい観察やケアが要求されます。新人看護師は働き始めたころは患者さんの要求していることがなかなかつかめず、不安になることもありましたが、先輩看護師に相談するなどして言葉によるコミュニケーションがとれなくても、徐々に表情や行動から患者さんが要求していることがつかめるようになっていきます。重症児(者)の患者さんは、自分で危険回避できないため、安全で衛生的な生活環境を整えることが大切なので、安全面や衛生面を考えつつ患者さんが持てる機能を維持できることを目指しています。全スタッフがケアを統一して行なっていけるように話し

合いは全職種を交えて行っていますので、慢性期の病棟ですが病棟内は活気にあふれています。また、フィッシュ活動にも積極的に取り組み四季折々の装飾等を行い、患者さんや家族から好評を得ています。ショートステイの患者さん・ご家族の方からも、「病棟が明るく過ごしやすいので、また利用したい。」との声が聞かれ、スタッフ一同喜びや、やりがいにつながっています。

これからも、患者さんに満足していただける病棟作りを目指していききたいと思います。

(中央1病棟看護師長 伊藤 充子)



紹介医療機関 (9月末日現在) ご紹介ありがとうございます。

- ・ 公立相馬総合病院 (40件)
- ・ 松村クリニック (34件)
- ・ 仙台厚生病院 (25件)
- ・ 宮城県立がんセンター (22件)
- ・ 三浦クリニック (17件)
- ・ 平田外科医院 (38件)
- ・ 相馬中央病院 (33件)
- ・ やべ内科クリニック (23件)
- ・ 金上病院 (17件)
- ・ 広南病院 (15件)

上位10医療機関のほか、県内外137医療機関からご紹介いただいております。

診療案内

平成23年10月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
				阿部 広幸		
						仙台医療センター医師
神経内科	新患	伊藤 博明	久永 欣哉	久永 欣哉	大隅 悦子	松本 有史
	再来	今井 尚志	今井 尚志	松本 有史	久永 欣哉	
			伊藤 博明	平岡 宏太良 (高次脳機能障害)	伊藤 博明	
呼吸器科			芦野 有悟			
消化器科				県立がんセンター (13:30~15:30)		
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
整形外科						県立がんセンター (13:30~15:30)
形成外科						澤村 武 庄司 未樹 隔週交代 (13:30~15:30)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大(第4木)	
リハビリテーション科	新患				大隅 悦子 (14:00~15:00)	
	再来	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐
放射線科(画像診断)				齋藤 美穂子		
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	伊藤 博明	久永 欣哉	久永 欣哉	大隅 悦子	松本 有史
	ALS外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来			平岡 宏太良		
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	頭痛外来	伊藤 博明	久永 欣哉	久永 欣哉	大隅 悦子	松本 有史

受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から

JR常磐線巨理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

